



令和4年度学校祭「天翔」



9月6・7日(火・水)の2日間にわたり文化祭、8・12日(木・月)の2日間にわたり体育祭という日程で学校祭を行いました。今年度、体育祭は熱中症対策の観点から、これまでの1日開催から2日間開催としましたが、悪天候により日程を変更し、2日目を翌週に延期する形で実施しました。

今年度は、宮津天橋生が3学年揃う初めての学校祭となりました。学校祭テーマの「天翔」は、校歌の「天翔ける(あまかける)」という歌詞を引用しています。「天翔ける」が「無限の空を高く自由に飛び回る」を意味するように、宮津天橋生一人一人が無限の創造力を発揮しながら、学校祭を心から愉しめるようにという願いが込められています。

文化祭は、各クラスが演劇・音楽・展示から1つを選択し、一学期後半から取組を始めまし

た。発表当日はクラスの個性を発揮し、完成度の高いパフォーマンスや作品展示を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な制約の中で、どのように観客の心を動かすことができるのか、そのために自分たちに何ができるのか、工夫を凝らし取り組んだ時間はとても有意義な時間となったのではないのでしょうか。特に3年生の演劇ではこれまでの高校生活の集大成として迫真の演技や完成度の高い道具類、音響など作品へのこだわりが非常に印象的でした。

体育祭は、各ブロックで競技や応援パフォーマンスを競い合い、生徒が一生懸命に取り組むさまざまな種目で、数多くの名場面も生まれました。また、部活動対抗リレーでは教職員チームも数多く参加し、普段とは違った生徒との真剣勝負に盛り上がるシーンが見られました。なお、体育祭に向けて制作した各ブロックの応援パネルも丁寧に作り上げら



れ、当日はそれぞれの応援席から健闘をたたえていました。

書道パフォーマンスでは「天橋始動」というスローガンが掲げられ、宮津天橋高校の新たな歴史の始まりを感じさせる学校祭でもありました。新しい伝統を胸に、これからの学校生活をより豊かなものにしてほしいと思います。

スタディーツアー

8月5日(金)、2年生の八木美咲さんと谷口春香さんの2名が Safari(総合的な探究の時間)で企画したスタディーツアーを実施しました。11名の生徒が参加し、伊根町を中心に自然・産業・歴史を体験的に学ぶ機会になりました。シーカヤックやe-Bikeなど、丹後で今、大注目のアクティビティーも取り入れた充実したツアーとなりました。

「今年は1日だけの開催となりましたが、非常に充実した楽しい時間になったと思います。丹後の自然に触れてもらいたい、丹後で働いている方を知ってもらいたいと企画したツアーでしたが、それを皆さんに学んでいただけたようで良かったです。丹後にはまだまだたくさんの魅力があるので、これからもそれを発信していけるようなツアーを企画したいです！」

八木美咲(HR24)



体験セミナー

8月2日(火)、中学生を対象に体験セミナーを実施しました。中学生のみなさんは2会場に分かれて本学舎の紹介を受けた後、各授業や部活動・建築科の取組を体験しました。また、当日は生徒会や「宮津学舎を人気校に」というテーマで探究活動に取り組む生徒が中心となり、宮津学舎の様子や魅力を自分たちの言葉で紹介しました。



全国大会の活躍

夏休み期間には多くの部活動が全国大会に出場・出品し、これまでの活動の成果を発揮しました。体育系ではボート部が愛媛県で開催されたインターハイにおいて全国の強豪校を相手に6位という成績を収め、全国大会入賞を果たしました。また、文化系では東京都で開催された全国高等学校総合文化祭に書道部門2名と、写真部門1名の生徒が京都府代表として作品を出品し、全国から選ばれた各作品を目の当たりにして、多くのことを学び取った様子でした。

☆ボート部

令和4年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会

6位 女子舵手つきクォドルプル

宮前千洋 (HR31) 太田心菜 (HR31) 西村まどか (HR33) 岡段守花 (HR34) 竹原李花 (HR35)

準決勝進出 女子ダブルスカル

谷口綺里 (HR35) 前尾明里 (HR24)

「このメンバーで漕げる最後のIH、この舞台で初めて勝ち上がっていく高揚感、負け続けてきた強豪クルーを抑えての勝利を得ることができました。6位という悔しい結果でしたが、2クルーとも最終日まで残り、レースできたことは大きな成長だったと思います。この経験を武器に次のステージで輝けるよう頑張ります。ボート部での3年間は私の宝物です。これまで応援し、支えてくださった方々、そして一緒に戦ってきた仲間に感謝します。ありがとうございました。」 岡段守花 (HR34)



☆ヨット部

令和4年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技

出場 女子レーザーラジアル級 (19位)

中村和代 (HR32)

「チームの目標であったインターハイ出場を達成できてとても嬉しかったです。本番では、1レース目から船の故障があり、調子を上げることができませんでしたが、得意な風の時には最大限の力を発揮できたと思います。悔しい結果に終わりましたが、支えてくださった先生や仲間、親に感謝の気持ちを伝えたいです。この3年間の努力が必ず報われるとは限らないけれど、その努力は絶対に無駄にならないことをいろいろな人から学び、自分自身を変え、成長することができました。」



☆書道部

第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 書道部門

出品 橋根琉伊 (HR34)

「全総文では全国のハイレベルな作品に触れることができ、とても良い経験になりました。作品鑑賞や交流をする中で他の高校生達の様々な書道に対する熱い思いを感じることができ刺激的でした。また、全国の高校生の魅力的な作品がたくさんあり、自分とは異なった表現力などに触れることで改めて、美しさの中にある書道の面白さを感じることができました。」

出品 室澤亜紗 (HR22)

「今回、私の書いた作品が全国高等学校総合文化祭という大きな大会に選ばれたことをとても嬉しく思っています。心が折れそうになる中で仲間に支えてもらったことで自分の納得のいく作品を書くことができました。たくさんの時間をかけて書いたことが感じ取れる素晴らしい作品に触れることもできました。」

☆写真部

第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 写真部門

出品 中村風沙 (HR23)

「3日間、東京の様々な観光地を巡り、観光している多くの人と写真を通して触れ合うことで、異なる地域の全く知らない人とでもコミュニケーションをとることができ、写真の楽しさを改めて感じることができました。また、様々な人が集まる東京だからこそ撮れるような面白い写真なども撮ることができ、とても貴重な経験をさせていただきました。」



吹奏楽部第1回定期演奏会

8月28日(日)、丹後文化会館で第1回定期演奏会を開催しました。『虹～かけがえのないピースたち～』をテーマに掲げ、「虹」は宮津学舎と加悦谷学舎を繋ぐ架け橋を、「ピース」はパズルピースのように、部員一人一人が大切な存在であるという思いを込めました。

京都府吹奏楽コンクールで銀賞を受賞した『シー・オブ・ウィズダム～知恵を持つ海～』をはじめ、『スタジオジブリメドレー』や3年生17名による『奏』、また野球部3年生との合同ステージでは吹奏楽部の演奏に合わせ野球部員がダンスを披露するなど、会場を盛り上げました。延期での開催にも関わらず多くの保護者、在校生、教職員の方々に御来場いただき、ありがとうございました。

「記念すべき『天吹』の第1回目の定期演奏会で、3年ぶりに野球部の皆さんと共演することができ、来場して下さった皆様に楽しいステージをお届けできたことを嬉しく思います。来年度は更に完成度を高めたステージとなるよう、1・2年の新体制で練習に励んでいきたいと思っています。今後も応援よろしくお願いします。」

和田萌香 (HR23)



宮津学舎学校説明会のご案内

10月6・7日(木・金)19時30分から宮津学舎の学校説明会を行います。この説明会では、令和5年度入学者選抜の概要や宮津学舎の教育活動の特色についての説明を行います。体験セミナーに引き続き、本学舎の活動に興味がある方は、この機会にぜひご参加ください。また、11月5日(土)にはオープンスクールも予定しています。

